

プリセプター研修が各地で開催されています (1/2)

フエ中央病院 - トゥア・ティエン・フエ省 (実施期間: 5月7日~11日 (第1回) 5月20日~24日 (第2回)
対象者: 同院の看護師長~主任レベル 合計65名)

フエ中央病院では今期2回のプリセプター研修を実施しました。同病院はベトナム中部地域(16省)にある国立総合病院で、同地域のトップリファラル病院として高度医療を含む医療サービスを提供するほか、併設の研修センターでは、下位(省・郡)病院の人材育成を支援しています。こうした特性を生かしプロジェクトでは同病院を協力病院として位置づけ、2017年より教材改訂のワークショップ等に招聘してきました。今回のプリセプター研修は、ワークショップに参加した看護部長ら看護部職員のイニシアティブにより企画されたものです。

研修内容には国立病院としての特性、新人看護師の育成やプリセプターシップのあり方が反映されており、また、外部講師に頼らず、看護部のチームワークを活かした講義と演習が実施されました。講師の優れたファシリテーションと能動的な対象者の相互作用でグループワークも活発に展開されました。



医療安全に関するケーススタディでのグループ討論での真剣な様子(フエ省)



研修初日、トゥエン研修センター長(下段右から4番目)、堀井チーフアドバイザー(同5番目)、チュオン看護部長(同6番目)をはじめとした研修講師と参加者(フエ省)



自身の先輩看護師との経験をもとに、プリセプターへの期待像を描きだす参加者(フエ省)



改訂版教材のコンピテンシーチェックリストを読み込むプリセプター候補者たち(ディエンビエン省)



理想のプリセプター像について話し合う参加者と省保健局ヒエン看護担当専門員(ディエンビエン省)



新人看護師の支援計画立案のグループワークの様子(ディエンビエン省)

ディエンビエン省 (実施期間: 5月13日~17日 対象者: 省内8病院から計24名)

ディエンビエン省では、改訂版教材を用いたはじめてのプリセプター研修を、保健局が主体となり、同省総合病院で開催しました。改訂版の教材やコンピテンシーチェックリストを活用し、新人看護師の指導・支援を計画し、現場で確実に実施できることを目標に、研修指導者が各レッスンごとに研修生の到達度を確認しながら研修を進めました。研修には、省内の各病院から数人ずつがプリセプター候補として参加していたため、グループ構成やグループワークの方法に工夫をし、活発な意見交換の促進や各個人の指導技術の向上も図りました。ディエンビエン省では、昨年育成されたプリセプターに対しての、改訂版教材の導入を目指した継続教育の計画や、第2回プリセプター研修も計画されており、新人看護師臨床研修の開始に向けて、自律的な活動が期待されています。

プリセプター研修が各地で開催されています (2/2)

ビンディン省総合病院 (実施期間: 5月20日~24日 対象者: 省内8病院から計43名)

5月第4週には、ビンディン省総合病院主催での、改訂版教材を用いたプリセプター研修が開催されました。

同病院では、研修講師、ファシリテーター、会場、資金調整などを自らのリソースを活用し、主体的に研修を実施しました。また、本研修は、同病院内に限られたものではなく、省内にある各病院から研修講師や対象者を招き、相互に補完しあえる仕組みを模索、より効果的な研修となるような工夫をしたことで、研修管理者・参加者同士の能力向上に繋がっています。



(左上) チュン・ティ・フン 看護部長より、改訂版研修教材についての説明

(右上) 5日間の研修後、プリセプターとして認定され、ホー・ヴェト・ミー院長より認定証を受け取った参加者

(下) 新人看護師の持つべき基本的なコンピテンシーの向上を支援するための指導について、グループワーク発表の様子

改訂版教材を用いたプリセプター研修の効果

今回報告した3研修には改訂版教材が使用されました。改訂版では自律的な研修運営を目指して、豊富な演習事例と様式を掲載しただけでなく、保健省科学技術訓練局承認の「標準研修教材」として、講師の調整や研修経費の確保など運営方法についても詳細を記載しました。その結果、両研修で以下の共通点が見られました。

- 既存のリソース（講師、予算、施設等）を最大限活用し、かつ質の高い研修を実施できるよう、プロジェクト・院外講師と事前調整を十分に行い、研修計画を立案、実施していた。
- 研修を担当した看護部職員らはプロジェクトが配布した教材を事前に十分に読み込み、研修の目的を理解したうえで、現場の状況を反映したオリジナルの講義資料・テスト・演習を開発していた。また、そのプロセスをプロジェクトと共有し、教材をより良くするための提案を積極的に行った。
- 研修の企画プロセスに、看護部だけでなく、関係部署の意思決定者を巻き込み、組織内の連携を促進する取り組みが、看護部長を中心になされていた。

プロジェクトでは今後、他病院でも臨床研修を自律的に進められるよう、グッドプラクティス、指導法、現場での課題等を共有する機会として、フエ中央病院をはじめとした協力病院へのスタディツアーなど、パイロット省内の病院間で相互に学ぶ場を設けるなどの支援を企画しています。

